

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	一般管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道総務課			
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-9620			
	目	下水道総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
	事業	一般管理事務事業	根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例、明石市公共下水道運営審議会規則			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	全市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	下水道のしくみや必要性を理解し、下水道を正しく使用する。
事業内容	①平成28年度から下水道事業に対して地方公営企業法の財務規定を適用するために必要とされる移行事務を行う。 平成25～27年度 明石市下水道事業公営企業会計システム構築等業務委託 平成26、27年度 明石市下水道事業固定資産評価等移行支援業務委託	
	②学識経験者や市民の代表者等を交え、下水道の計画や下水道使用料の適正化について審議する「明石市公共下水道運営審議会」を必要に応じ開催すると共に、審議内容をホームページで公表することで、市民への周知を図る。 【審議会の開催状況】 平成25年度 1回（これに加え、施設見学会を開催） 平成26年度 0回 平成27年度見込み 0回 ③下水道事業に携わる職員の資質向上を図るため、各種講習会、研修等へ下水道部職員を派遣する。 ④下水道事業の推進や下水道関係団体の活動の支援等を行っている、日本下水道事業団、日本下水道協会、下水道研究会議に加入し、総会や理事会、研修会等へ参加する。 ⑤下水道事業についての概要や、各種研修、講習会等で得た情報を、出前講座等を通じて市民に広くPRする。 ⑥国庫補助金の申請や部内の予算執行管理を行う。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	125,163	42,840	168,003	0	0	147,681	20,322	正規	5.40	パート	1.00
26当初予算	207,558	56,100	263,658	0	0	163,542	100,116	再任用	0.30	その他	0.00
26決算	138,657	56,100	194,757	0	0	168,299	26,458	任期付	1.00	合計	7.70
27当初予算	313,745	49,700	363,445	0	0	226,817	136,628				

区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	事務用品等	341	需用費	事務用品等	401	
委託料	明石市下水道事業固定資産評価等移行支援業務委託	4,925	委託料	明石市下水道事業固定資産評価等移行支援業務委託ほか	21,850	
負担金補助及び交付金	各種会費負担金	1,107	負担金補助及び交付金	各種会費負担金	1,202	
公課費	消費税及び地方消費税	132,085	公課費	消費税及び地方消費税	288,724	
その他		42	その他		1,370	
合計		138,657	合計		313,745	

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-001	事務事業名	一般管理事務事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	下水道作品展等への参加者数	下水道事業の必要性を市民へPRするためにおこなっている下水道作品展等への参加者数を成果指標とする。 (25年度は「下水道展」を開催)	人	1,500	518	600
	指標で表せない成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・日本下水道事業団、日本下水道協会、下水道研究会議等の研修会に参加することにより、最新の技術レベルを保つことができると同時に、効果的な情報収集ができています。 						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・水循環における「下水道」の役割等への関心と理解を深めるため、引き続きPRを進めていきたい。 ・今後も最小の経費での運営を目指し、経費節減に努めていく。 ・引き続き、各種研修及び講習会等に参加することにより、技術の向上を図っていく。 ・下水道事業に対する地方公営企業法の財務規定適用のための移行事務を進める。 						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名 下水道使用料徴収事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 002		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業					
	款	下水道事業費					
	項	下水道事業費					
	目	下水道総務費					
	事業	下水道使用料徴収事務事業					
施策分野		5 都市基盤整備分野					
		5-6 下水道の整備					
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』					
		事業の分割/統合の内容					
		事業所管課	下水道部下水道総務課				
		連絡先	(078)934-9621				
		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
		根拠法令・要綱等	下水道法・明石市下水道条例				
		実施方法	直営	補助・助成	その他		
			委託	○	指定管理		
事業の目的	対象（誰を・何を）						
	明石市内の公共下水道を利用する者。						
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）						
	下水道事業における財源を確保し健全な経営をめざす。						
①公共下水道管に接続し、新たに下水道を利用する者に対して、下水道使用料を賦課する。 ②公共下水道を使用する者から下水道使用料を賦課・調定・収納する。 ③排除汚水（井戸水・工業用水等）の使用者調査及び排除汚水量の認定、収納を行う。 ④排除汚水認定企業を立ち入り検査し、配管設備・メータ確認を行い、申告等について説明・指導を行う。 ⑤下水道使用料の重複支払等における過誤納金の還付、充当処理を行う。 ⑥下水道使用料の減免対象者（独居老人、災害等による被災者等）の調査・認定を行う。 ⑦下水道使用料の滞納について徴収及び整理を行う。 ⑧財政計画の執行状況の調査・分析を行う。 ⑨水道部との協定書により業務委託（検針・収納・コンピュータシステム処理業務等）を実施。							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	143,838	19,280	163,118	0	0	169,711	-6,593	正規	1.95	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	152,578	19,050	171,628	0	0	122,539	49,089	再任用	0.30	その他	0.00
26決算	152,341	19,050	171,391	0	0	184,906	-13,515	任期付	0.60	合計	2.85
27当初予算	153,188	18,570	171,758	0	0	121,515	50,243				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	事務用品	52		需用費	事務用品、各種帳票印刷等	65
負担金補助及び交付金	水道部への使用料徴収事務負担金	150,823	負担金補助及び交付金	水道部への使用料徴収事務負担金	151,123		
償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金及び還付加算金	1,466	償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	2,000		
合計			152,341	合計			153,188

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-002	事務事業名	下水道使用料徴収事務事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	徴収実績	下水道使用料の徴収実績	千円	4,939,433	4,990,836	4,960,000
	指標で表せない成果					

	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等				
	<p>本事業は、下水道事業の根幹をなす収益事業である。</p> <p>使用料の徴収方法は水道料金との一括徴収であり、徴収業務については民間委託を行っているため、一層の効率化が図られている。</p> <p>本事業は、下水道事業を行う上で中心的な財源となっており、今後も健全な経営を持続するため、下水道料金の見直しについて検討し、また、滞納整理の強化に努める。</p>				

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		受益者負担金賦課徴収事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 003		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道総務課				
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-9621				
	目	下水道総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
	事業	受益者負担金賦課徴収事務事業	根拠法令・要綱等	東播都市計画事業明石市下水道事業受益者負担に関する条例				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						
事業の目的	対象（誰を・何を）							
	下水道を整備する区域内の土地所有者、または土地に対する権利者。							
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）							
	公共下水道の整備費用の一部を土地の面積に応じて負担していただき、整備の促進を図る。							
事業内容	①新規下水道管布設工事計画について地元説明会等を行い、受益者負担金の賦課・調定・収納事務を行う。 ②下水道管布設計画に伴う受益者及び受益地を認定する。 ③賦課した受益者負担金の請求・督促・催告・収納事務を行う。 ④滞納者宅を訪問し、納付指導及び徴収業務を行う。 ⑤受益者負担金の減免・徴収猶予申請についての調査・認定等事務を行う。 ⑥受益者負担金の猶予地解除に伴う賦課台帳更正及び調定・収納等事務を行う。 ⑦電算処理用データの作成・送付及び情報管理課との連絡調整。 ⑧法務局への調査、資産税課との連絡調整。							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	1,402	16,600	18,002	0	0	16,012	1,990			
26当初予算	1,898	17,700	19,598	0	0	1,898	17,700	正規	1.70	7/11/11 0.00
26決算	1,247	17,700	18,947	0	0	15,881	3,066	再任用	0.70	その他 0.00
27当初予算	1,792	17,360	19,152	0	0	1,792	17,360	任期付	0.40	合計 2.80

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		報償費	受益者負担金一括納付報奨金		757		報償費
	需用費	事務用品、各種帳票印刷等	490		需用費	事務用品、各種帳票印刷等	480
					役務費	郵便振替手数料	1
					使用料及び賃借料	説明会会場借上料	11
					償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	200
	合計		1,247		合計		1,792

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-003	事務事業名	受益者負担金賦課徴収事務事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	徴収実績	受益者負担金の徴収実績	千円	24,663	64,052	15,000
	指標で表せない成果					
	徴収率の向上(前年度比7.2ポイント上昇)					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>下水道普及率が99.5%(H27.3.31)に達しており、今後、負担金を賦課する区域は私道関係や調整区域が多くなる。対象者への十分な理解を深めるためには、下水道部内各課の協力を仰ぎ、対象者へ十分な説明を行う等積極的に対応していく必要がある。</p> <p>徴収猶予額が303,164,830円(H27.3.31)あり、農地転用等により平成26年度で14,580,369円の猶予解除が発生している。今後、開発等による猶予解除を確実にを行うためには、現地調査の実施及び対象者への説明を積極的に行う必要がある。</p> <p>下水道事業の財源として重要な地位を占める事業であるため、現行のまま継続する。</p>					

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	安全衛生委員会事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 004		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道総務課				
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-9620				
	目	下水道総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度		
	事業	安全衛生委員会事務事業	根拠法令・要綱等	労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令、明石市職員安全衛生規則				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託			指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	下水道部職員							
	意図（どういう状態にしたいのか）	作業手順の遵守と安全行動を実践し、公務災害が起きない職場をつくるとともに、健康管理の充実と健康づくりを促進し、心と体の健康を保つ。							
事業内容	<p>①下水道部事業場安全衛生委員会を開催する。 【安全衛生委員会の開催状況】 平成25年度 12回 平成26年度 12回 平成27年度見込み 12回</p> <p>②下水道部事業場の安全衛生活動として産業医による職場巡視、安全衛生委員による安全パトロールを実施する。 【産業医巡視及び安全パトロールの実施状況】 平成25年度 4回 平成26年度 4回 平成27年度見込み 4回</p> <p>③事故のない安全で快適な職場環境づくりを推進するため、下水道部内において、酸素欠乏等危険作業特別教育講習会及び各種講習会を実施する。 【酸素講習会及び各種講習会の実施状況】 平成25年度 酸素講習会20名・市民救命士講習会20名 平成26年度 酸素講習会20名・市民救命士講習会20名 平成27年度 酸素講習会15名・熱中症予防対策講習会28名</p> <p>④作業現場での事故防止のため、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習会に派遣する。 【酸素・硫化水素危険作業主任者技能講習会の実施状況】 平成25年度 6名 平成26年度 4名 平成27年度 1名</p> <p>⑤作業中の感染事故防止のため、破傷風予防接種を行う。 【破傷風予防接種の実施状況】 平成25年度 22名 平成26年度 34名 平成27年度 24名</p>								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	199	3,210	3,409	0	0	0	3,409	正規	0.10	パート	0.00
26当初予算	273	3,200	3,473	0	0	273	3,200				
26決算	242	3,200	3,442	0	0	0	3,442	再任用	0.70	その他	0.00
27当初予算	292	3,200	3,492	0	0	292	3,200				

区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	部内研修用図書等	28	27年度当初予算事業費明細	旅費	研修等旅費	15
委託料	破傷風予防接種委託	129		需用費	部内研修用図書等	26
負担金補助及び交付金	講習会参加費	85		委託料	破傷風予防接種委託	109
				負担金補助及び交付金	講習会参加費	142
合計		242		合計		292

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-004	事務事業名	安全衛生委員会事務事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	部内の事故発生件数	安全衛生の推進のための活動の効果が表れれば事故が減少する。	件	0	4	0
	酸欠講習会及び各種講習会の参加者数	職員の安全意識を高め、災害の無い安全で快適な職場環境づくりを推進する。	名	40	40	43
	指標で表せない成果					
・毎月開催の安全衛生委員会等を通して、職員の心と体の健康づくりを促進している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・引き続き、安全かつ快適な職場環境の下で職員が心身ともに健康な状態で業務に従事できるよう、事業を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		貸付金・助成金事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 005		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業		事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道総務課				
	項	水洗便所普及奨励費		連絡先	(078)934-9621				
	目	水洗便所普及奨励費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
	事業	貸付金・助成金事務事業		根拠法令・要綱等	明石市水洗便所改造資金等助成規則 明石市水洗便所改造資金等貸付条例				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業の目的	対象（誰を・何を）								
	下水処理開始日から3年以内に、水洗トイレに改造または浄化槽を廃止して公共下水道に切り替えする者。（助成金） 上記の改造工事等を行う者のうち、貸付金を必要とする者。（貸付金）								
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）								
	下水道事業の推進を図り、住民の快適な住環境をめざす。								
①水洗便所助成金交付・水洗便所改造資金貸付申請に基づき、審査及び決定に関する事務処理を行う。 ②水洗便所助成金・水洗便所改造資金貸付金の交付等の事務処理を行う。 ③水洗便所改造資金貸付金償還金の収納事務を行う。 ④水洗便所改造資金貸付金償還金の滞納整理業務を行う。 ⑤生活保護世帯水洗便所改造に関する補助手続業務を行う。 ⑥排水設備申請に伴う助成金・貸付金に関する事項について、関係各課との連絡調整を行う。 ⑦共同排水設備申請に関する審査及び助成金交付事務を行う。									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	4,712	7,470	12,182	0	0	4,760	7,422				
26当初予算	9,465	6,150	15,615	0	0	9,465	6,150	正規	0.85	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26決算	1,625	6,150	7,775	0	0	2,983	4,792	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	7,338	6,970	14,308	0	0	7,338	6,970	任期付	0.00	合計	0.85

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	事務用品	76		需用費	データバイнда、各種帳票印刷等	35
役務費	口座振替手数料	1	役務費	口座振替手数料	3		
負担金補助及び交付金	水洗便所改造等助成金	1,378	負担金補助及び交付金	水洗便所改造等助成金	2,900		
貸付金	水洗便所改造資金等貸付金	170	貸付金	水洗便所改造資金等貸付金	4,400		
合計			1,625	合計			7,338

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-005	事務事業名	貸付金・助成金事務事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	貸付残高	貸付金元金	千円	4,079	1,666	4,400
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道普及率が99%を超えた現在、貸付申請件数は減少傾向にあるが、未水洗家屋については早急に水洗化する必要があり、住民の快適な住環境を目指す事業であるため、また、過去に制度を利用した市民との公平性を維持するためにも現行のまま継続する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	長期債元金償還金			新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 006			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容					
	款	公債費			事業所管課		下水道部下水道総務課			
	項	公債費			連絡先		(078)934-9620			
	目	元金			自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
	事業	長期債元金償還金			根拠法令・要綱等		地方自治法			
施策分野		5 都市基盤整備分野			実施方法		直営	○	補助・助成	その他
		5-6 下水道の整備					委託		指定管理	
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	長期債の元金									
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	償還表に基づき、借入先に償還を行う。									
起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、元金の償還を行う。										
【長期債元金の償還状況(千円)】										
		償還額	残高							
	平成25年度	3,812,821	59,768,551							
	平成26年度	3,789,867	57,163,484							
	平成27年度(見込み)	3,796,300	54,868,684							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	3,812,821	0	3,812,821	0	0	2,191,427	1,621,394	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	3,789,900	0	3,789,900	0	0	2,178,237	1,611,663	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	3,789,867	0	3,789,867	0	0	2,209,263	1,580,604	任期付	0.00	合計	0.00
27当初予算	3,796,300	0	3,796,300	0	0	2,080,355	1,715,945				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利息及び割引料	長期債元金償還金		3,789,867		償還金利息及び割引料
	合計		3,789,867		合計		3,796,300

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-006	事務事業名	長期債元金償還金
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	償還残高	償還金の残高	千円	59,768,551	57,163,484	54,868,684
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還を行う。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	長期債利子	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 007	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容			
	款	公債費	事業所管課	下水道部下水道総務課		
	項	公債費	連絡先	(078)934-9620		
	目	利子	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度
	事業	長期債利子	根拠法令・要綱等	地方自治法		
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備		委託		指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』					

事業の目的	対象（誰を・何を）	長期債の利子							
	意図（どういう状態にしたいのか）	償還表に基づき、借入先に償還を行う。							
	事業内容	起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、利子の償還を行う。 【長期債利子の償還状況(千円)】 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding-left: 40px;">償還額</td><td></td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>1,438,639</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>1,364,672</td></tr> <tr><td>平成27年度(見込み)</td><td>1,306,000</td></tr> </table>	償還額		平成25年度	1,438,639	平成26年度	1,364,672	平成27年度(見込み)
償還額									
平成25年度	1,438,639								
平成26年度	1,364,672								
平成27年度(見込み)	1,306,000								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	1,438,639	0	1,438,639	0	0	715,567	723,072	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	1,379,000	0	1,379,000	0	0	792,211	586,789	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	1,364,672	0	1,364,672	0	0	817,463	547,209	任期付	0.00	合計	0.00
27当初予算	1,306,000	0	1,306,000	0	0	701,497	604,503				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利子及び割引料	長期債利子		1,364,672		償還金利子及び割引料
	合計		1,364,672		合計		1,306,000

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-007	事務事業名	長期債利子
------	----------------	-------	-------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	償還額	償還金の額	千円	1,438,639	1,364,672	1,306,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還を行う。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	起債前借及び一時借入金利息			新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 008									
				分割/統合												
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容											
	款	公債費			事業所管課	下水道部下水道総務課										
	項	公債費			連絡先	(078)934-9620										
	目	利息			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度								
	事業	起債前借及び一時借入金利息			根拠法令・要綱等	地方自治法										
施策分野	5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成	その他								
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理									
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』															
事業の目的	対象（誰を・何を） 起債前借及び一時借入金利息															
	意図（どういう状態にしたいのか） 償還表に基づき、借入先に償還を行う。															
事業内容	○起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、起債前借利息の償還を行う。 ○運転資金が不足し、一時借入金の借入を行った場合、約定に基づき利息の支払いを行う。 【起債前借利息の償還状況(千円)】															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成27年度(見込み)</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table>									償還額		平成25年度	0	平成26年度	0	平成27年度(見込み)
償還額																
平成25年度	0															
平成26年度	0															
平成27年度(見込み)	5,000															

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00		
26当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	再任用	0.00	その他	0.00		
26決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00		
27当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0						
26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額						
							償還金利息及び割引料	一時借入金利息	5,000				
合計			0	合計			5,000						

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-008	事務事業名	起債前借及び一時借入金利息
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	償還額	償還金の額	千円	0	5,000	
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還を行う。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	予備費	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 009		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業	事業の分割/ 統合の内容				
	款	予備費	事業所管課	下水道部下水道総務課			
	項	予備費	連絡先	(078)934-9620			
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
	事業	予備費	根拠法令 ・要綱等	地方自治法			
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理	

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	下水道事業											
	意図（どういう状態にしたいのか）	円滑で機動的な予算執行を可能にする。											
事業 内容	年度途中における災害等不測の事態により予算の不足が生じ、補正予算の計上や流用ができない場合、予備費の充当を行い事業を執行する。												
	<p>【予算計上と執行の状況(千円)】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: center;">予算計上</th> <th style="width: 20%; text-align: center;">決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> <td style="text-align: right;">0(下水道使用料徴収事務事業に予備費充当300)</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> <td style="text-align: right;">0(管渠維持事業に予備費充当300、船上浄化センター維持事業に予備費充当70)</td> </tr> <tr> <td>平成27年度(見込み)</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			予算計上	決算	平成25年度	5,000	0(下水道使用料徴収事務事業に予備費充当300)	平成26年度	5,000	0(管渠維持事業に予備費充当300、船上浄化センター維持事業に予備費充当70)	平成27年度(見込み)	5,000
	予算計上	決算											
平成25年度	5,000	0(下水道使用料徴収事務事業に予備費充当300)											
平成26年度	5,000	0(管渠維持事業に予備費充当300、船上浄化センター維持事業に予備費充当70)											
平成27年度(見込み)	5,000												

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	5,000	0	5,000	0	0	0	5,000	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00
27当初予算	5,000	0	5,000	0	0	0	5,000				

26 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額
							予備費
	合計		0		合計		5,000

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-009	事務事業名	予備費
------	----------------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	予備費充当額	事業の計画的な運営を推進すべく予備費の充当額を低くすることを成果指標とする。	千円	300	370	0
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・予備費は不測の事態にのみ執行するものとし、必要最小限に留める。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		管渠維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 001			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業		事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道管理課					
	項	下水道事業費		連絡先	(078)934-9623					
	目	下水道維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	管渠維持事業		根拠法令・要綱等	下水道法(3条)(23条)					
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		5-6 下水道の整備			委託	○	指定管理			
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								
事業の目的	対象（誰を・何を）									
	下水道管渠等施設									
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	生活環境の維持と水質保全のため、下水道管渠施設を常に良好な状態で使用できるよう適正な維持管理を行う。									
<p>① 管渠施設等の構造的安全性の確保 日常的にパトロールを実施し、老朽管の調査、修繕を行っていくことによって構造物の安全性の確保を行う。マンホール蓋については緊急的な取替えに対応できるよう、直営による原材料管理を行っており、平成26年度は、317枚の出庫を行った。（平成25年度は計285枚の実績、平成27年度は計215枚の見込み）</p> <p>② 管渠施設等の機能保全 定期点検の結果や市民からの情報提供を受け、管渠、水路、側溝等の清掃を行い浸水や溢水の防除に努める。（浚渫汚泥処分実績：平成25年度 153t、平成26年度 296t、平成27年度（見込み） 264t）</p> <p>③ 下水道台帳の整備 電子化した下水道台帳システムにより下水道施設の情報を一元化し、施設管理を効率的に行う。また、管渠新設等に伴うシステムのデータ更新を迅速に行い、的確な情報提供を行うことで市民サービスの充実を図る。（管渠データ更新実績：平成25年度 管渠14km他、平成26年度 管渠12km他、平成27年度（見込み） 管渠12km他）</p>										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	159,639	68,250	227,889	0	0	203,020	24,869	正規	6.50	パート	0.00
26当初予算	173,693	62,700	236,393	0	0	172,693	63,700	再任用	3.00	その他	0.00
26決算	171,257	62,700	233,957	0	0	210,793	23,164	任期付	0.00	合計	9.50
27当初予算	171,324	63,500	234,824	0	0	171,324	63,500				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	維持管理用消耗品、管理施設修繕料等	5,115		需用費	維持管理用消耗品、管理施設修繕料等	5,022
委託料	汚泥処分委託料等	16,438	委託料	汚泥処分委託料等	17,441		
使用料及び賃借料	下水道管理施設用地使用料等	683	工事請負費	管渠施設維持管理工事等	125,600		
工事請負費	管渠施設維持管理工事等	127,599	原材料費	人孔鉄蓋	20,500		
原材料費	人孔鉄蓋	20,494	備品購入費	公用車	900		
その他		928	その他		1,861		
合計			171,257	合計			171,324

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-001	事務事業名	管渠維持事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	公共下水道施設の安全性の確保と機能性の維持	パトロール等で発見した管渠内のし渣を未然に除去し安全性と機能性の確保に努める。(年間に除去処分した汚泥の量)	t	153	296	264
	台帳システムの整備	台帳システムにより部内業務の支援と情報管理業務の一元化を図り、維持管理業務の効率化と市民サービスの向上を図る。(管渠増加延長)	m	7,670	9,381	10,000
指標で表せない成果						
管渠の詰りによる汚水溢水等の被害を未然に防止し、緊急対応や修繕に係る費用の軽減に寄与している。 台帳システムの整備により、窓口に来る市民に対して、最新の情報をわかりやすく伝えることができるため、市民サービスの向上が図れる。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
巡視点検を強化することで、管渠内の光ケーブルにし渣が絡み、管閉塞を起こす被害が軽減出来ているため、より効率的に巡視点検を行う。台帳システムによる情報一元化に努め、業務の効率化を図る。市民サービスの一層の向上をめざし、閲覧手法のデジタル化への移行を検討する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	水洗便所普及事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 002			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費						
	項	水洗便所普及奨励費						
	目	水洗便所普及奨励費						
	事業	水洗便所普及事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	下水道法 第11条の3 第10条				
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託		○	指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	水洗化の促進
	意図（どういう状態にしたいのか）	<p>奨励方法・内容を充実し、効率よく効果を上げる。</p> <p>周辺環境の改善のため、100%の水洗化を図る。</p>
事業内容	①広報活動	水洗化工事に係る具体的な手続きや方法等について、日頃から住民に対し積極的に周知・普及活動を実施する。「広報あかし」に下水道に関する記事を掲載する。
	②水洗普及指導員による奨励	水洗化への奨励については、2名の水洗普及指導員により、戸別訪問・文書送付等を行い、繰り返し指導をしている。留守宅については、休日にも指導を行い、水洗化率（平成25年度96.8%、平成26年度96.8%、平成27年度96.9%見込み）の向上を図る。（奨励件数は、平成25年度約6,300件、平成26年度約6,000件、平成27年度見込み5,800件）
	③私道における公共下水道布設制度のPR	私道における公共下水道布設可能箇所について、整備促進を図るため、積極的に地元説明会等を開催する。
	④新設取付管の設置	取付管が布設されていない宅地に対して、500㎡まで1箇所を公費で布設する工事を実施している。
	⑤取付管設置位置調査の業務委託	取付管設置位置調査・私道における既設管状況調査・年末年始等緊急対応業務委託を行うことにより、業務の効率化を図り、水洗普及の促進に資する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	93,178	45,250	138,428	0	94,100	20,275	24,053	正規	3.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	98,067	48,300	146,367	0	89,200	4,599	52,568	再任用	5.00	その他	1.00
26決算	94,549	48,300	142,849	0	93,000	23,354	26,495	任期付	2.00	合計	11.50
27当初予算	91,586	52,820	144,406	0	89,400	1,093	53,913				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地出張旅費	8		旅費	近接地出張旅費	10
需用費	事務用品、各種帳票印刷等	460	需用費	事務用品、各種帳票印刷等	590		
役務費	自動車保険料等	11	役務費	自動車保険料等	39		
委託料	取付管設置位置調査業務委託等	6,682	委託料	取付管設置位置調査業務委託等	3,530		
工事請負費	取付管設置工事	87,388	工事請負費	取付管設置工事	87,400		
			その他		17		
	合計		94,549		合計	91,586	

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-002	事務事業名	水洗便所普及事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	水洗普及事業による水洗化率の推移	水洗化戸数/水洗化可能戸数×100	%	96.8	96.8	96.9
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性

現状の課題・今後の事業展開方針等

概ね現状の規模、手法の継続を基本に、未水洗者との協議を深め、勸奨事業の促進を図っていく。

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	水質指導事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 001			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	下水道事業費		連絡先	(078)934-9901			
	目	下水道維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度	
	事業	水質指導事業		根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							

事業の目的	対象（誰を・何を）	公共下水の水質 公共下水道接続事業場等
	意図（どういう状態にしたいのか）	浄化センターの汚水処理（水処理）について、水質調査等を通して水処理工程の現状を把握し、良好な状態を維持できるように努めている。また、水処理トラブル時には浄化センターとの共同作業で適正な水処理状態に回復させ、水処理トラブルの原因にもなる公共下水道接続事業場等が、常に排除基準以下の水質で排水されるように指導している。

事業内容	①下水道法第21条に基づく水質検査として、毎月浄化センターに入る流入水及び放流水の精密検査及び評価を実施。
	②合流式下水道の放流水質改善を図るため、雨天時における時間ごとの水質検査及び評価を実施。
	③水処理工程の現状把握のため、簡易項目による日常調査及び運転操作の変更等の助言を実施。
	④水処理工程の状況把握のため、4浄化センターにおいて処理別に詳細項目による工程調査及び評価を実施。
	⑤水処理工程の経時変化の状況把握のため、年1回、2時間毎に流入水や放流水等の通日調査、統計処理及び評価を実施。
	⑥兵庫県播磨灘周辺自治体で検討会を実施中の豊かな海づくり構想の実現のため、二見浄化センターで実施している栄養塩管理運転の特別水質調査、現状解析及び運転変更指示等により、栄養塩を主とした水質のコントロールを実現。
	⑦大久保浄化センター敷地内井戸水の灌漑用水利用のため、塩素イオンの水質検査を適宜実施。また、処理水の親水性用水として活用できるかを見るため、水質検査を年1回実施。
	⑧その他、必要に応じて各種水質調査及び発生原因の特定や善後策の検討を実施。
	⑨下水道法及び明石市下水道条例に基づく特定施設、除害施設等の届出受理、審査及び指導事務を実施。
	⑩下水道法に基づく特定事業場を中心に不定期に立入水質検査、状況確認及び排水指導を実施。 事業場立入調査実績(25年度116件、26年度118件、27年度見込み110件)
	⑪排除基準超過事業場に、適正な維持管理方法及び排除基準遵守の指導を実施。 排除基準超過事業場指導実施後の改善率(25年度57%、26年度90%、27年度見込み70%)
	⑫土壌汚染対策法の指定を受けている下水道法上特定事業場の照会や相談業務を実施。
	⑬環境保全協定に基づく締結事業場の指導、相談及び事前協議や審査を実施。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	8,088	20,960	29,048	0	0	10,208	18,840	正規	2.57	パート	0.00
26当初予算	6,994	29,598	36,592	0	0	0	36,592	再任用	1.00	その他	0.00
26決算	6,932	29,598	36,530	0	0	8,465	28,065	任期付	0.06	合計	3.63
27当初予算	7,373	24,630	32,003	0	0	0	32,003				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	分析関係消耗品及び試薬他	1,929		2	旅費	近接地旅費
役務費	公用車損害共済分担金他	49	2	需用費	分析関係消耗品及び試薬他	1,975	
委託料	事業所立入時採水分析他	3,602	2	役務費	公用車損害共済分担金他	50	
備品購入費	水質分析備品等	1,328	2	委託料	事業所立入時採水分析他	3,961	
負担金補助及び交付金	研修参加費等	9	2	備品購入費	水質分析備品等	1,340	
その他		15	2	その他		27	
	合計		6,932		合計		7,373

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-001	事務事業名	水質指導事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	事業場立入調査実績	市内公共下水道接続事業場に対して不定期に立入調査を実施することにより、下水道排除基準の遵守を徹底させていく。	件	116	118	110
	下水道排除基準超過事業場指導実施後の改善率	下水道排除基準超過発覚後の指導による基準遵守状態への回復の度合いを数値化。 超過後回復件数/基準超過件数×100	%	57	90	70
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・水処理工程の水質検査及び評価を頻繁に行うことにより、水処理工程の不良化を未然に防ぎ、継続して非常に良好な放流水質を維持し、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全に大きく貢献している。 ・不定期に行う事業場への立入水質調査等により、市内事業場における下水道水質事故は発生しておらず、有害物質等の異常流入水を未然に防ぐことに貢献している。 						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>当事業のうち、各浄化センターの水質に関する検査や調査においては、将来性や社会情勢、他都市の状況を考慮した適正かつ効率的な手法のあり方について検討を行う。</p> <p>また、下水道法に基づく特定事業等への規制業務は、本来下水処理場で処理が不可能な物質の流入を防止する上で重要であり、継続して実施する。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧浄化センター維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 002		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度	
	事業	朝霧浄化センター維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	朝霧浄化センター処理区内348haに居住する市民及び同区内から排水される汚水
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理する。

事業内容	① 汚水処理量 : 晴天日平均 平成25年度実績 9,887m ³ 平成26年度実績 9,424m ³ 平成27年度見込み 9,656m ³
	② 維持管理 : 平成23年度から船上浄化センターにおいて遠隔操作を行い維持管理を行う。
	③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)
	④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成
	⑤ 地元対応 : 敷地内に、会議棟、多目的広場を設け近隣自治会に開放している。
	⑥ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	127,969	38,396	166,365	0	0	161,510	4,855	正規	4.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	111,143	45,688	156,831	0	0	111,143	45,688	再任用	0.80	その他	0.30
26決算	112,821	45,688	158,509	0	0	137,777	20,732	任期付	0.20	合計	5.80
27当初予算	127,287	41,160	168,447	0	0	127,287	41,160				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	50,966		需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	55,990
役務費	専用回線、火災保険料	548	役務費	専用回線、火災保険料	510		
委託料	汚泥運搬業務、中央監視制御設備保守点検業務等	30,732	委託料	汚泥運搬業務、中央監視制御設備保守点検業務等	32,372		
使用料及び賃借料	テレビ受信料	14	使用料及び賃借料	テレビ受信料	15		
工事請負費	朝霧浄化センターほか処理施設機械保全工事他	30,561	工事請負費	機械電気定期保全等	38,400		
合計			112,821	合計			127,287

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-002	事務事業名	朝霧浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/㎡	35	31	31
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	1,739	1,714	1,800
指標で表せない成果						
・施設の管理・清掃も適切に行われており、処理場で発生する臭気による市民からの苦情も減少している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含め維持管理の強化が必要である。</p> <p>今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、朝霧浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、施設の統廃合を推進する。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	船上浄化センター維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 003		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度	
	事業	船上浄化センター維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他
	5-6 下水道の整備		委託	○	指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	船上浄化センター処理区内775haに居住する市民及び同区内から排水される汚水と雨水
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理し雨水を速やかに排除する。

事業内容	① 汚水処理量 : 晴天日平均 平成25年度実績 25,732m ³ 平成26年度実績 24,678m ³ 平成27年度予定量 25,205m ³
	② 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成
	④ 地元対応 : 地元イベントへの協力。施設内の樹木の剪定。
	⑤ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	273,187	67,446	340,633	0	0	344,791	-4,158	正規	6.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	316,301	62,990	379,291	0	0	316,301	62,990	再任用	1.20	その他	0.50
26決算	284,500	62,990	347,490	0	0	347,431	59	任期付	0.20	合計	8.40
27当初予算	302,252	59,600	361,852	0	0	302,252	59,600				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	126,575		需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	147,430
役務費	電話回線、手数料、火災保険料等	6,230	役務費	電話回線、手数料、火災保険料等	6,992		
委託料	汚泥運搬業務、夜間・休日運転管理包括業務等	108,134	委託料	汚泥運搬業務、夜間・休日運転管理包括業務等	114,742		
工事請負費	船上浄化センター処理施設機械保全工事他	43,350	工事請負費	機械電気定期保全等	32,400		
備品購入費	非接触温度計	46	備品購入費	赤外線水分計	570		
その他		165	その他		118		
合計			284,500	合計			302,252

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-003	事務事業名	船上浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	26	26	28
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	4,367	4,152	4,500
指標で表せない成果						
・本処理区は合流地域である為、雨水を速やかに排除して、処理区内の冠水防止に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、施設の老朽化が進み更新時期を過ぎている中で、ネットワーク計画の進展状況に合わせた、効率の良い施設整備や維持管理の強化が必要である。 今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、船上浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保浄化センター維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 004			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費							事業所管課
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 8 年度			
	事業	大久保浄化センター維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	5-6 下水道の整備			○	○	○	○	○	○
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）	大久保浄化センター処理区内1237haに居住する市民及び同区内から排水される汚水							
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理する。							

事業内容	① 汚水処理量 : 晴天日平均 平成25年度実績 26,128m ³ 平成26年度実績 26,724m ³ 平成27年度見込み 26,426m ³ ② 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直自家発点検(年一回) ③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成 ④ 地元対応 : 開放施設(せせらぎ水路、グラウンド、会議棟、テニスコート)を設け地元へ開放。樹木の剪定。 ⑤ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)により、大久保浄化センターは第二種エネルギー管理指定工場である。毎年1%のエネルギーを低減させることが義務付けられており、目標達成のためには、機器更新の際にも省エネを考慮する必要がある。								
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	307,328	50,406	357,734	0	0	387,881	-30,147	正規	7.12	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	368,859	49,966	418,825	0	0	330,888	87,937	再任用	1.82	その他	0.00
26決算	392,214	49,966	442,180	0	0	490,972	-48,792	任期付	0.20	合計	9.14
27当初予算	404,325	65,092	469,417	0	0	374,060	95,357				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	185,217		需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	180,590
役務費	電話回線、手数料、火災保険料等	3,164	役務費	電話回線、手数料、火災保険料等	2,107		
委託料	汚泥運搬業務、夜間・休日運転管理包括業務等	134,186	委託料	汚泥運搬業務、夜間・休日運転管理包括業務等	136,717		
工事請負費	大久保浄化センターほか処理施設機械保全工事他	68,086	工事請負費	機械電気定期保全等	83,900		
備品購入費	赤外線水分計他	726	負担金補助及び交付金	研修参加費等	350		
その他		835	その他		661		
合計			392,214	合計			404,325

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-004	事務事業名	大久保浄化センター維持事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	32	40	38
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	7,714	7,573	7,703
指標で表せない成果						
谷八木川の水質改善に役立っている。 せせらぎ水路などを利用して、環境保全や下水道の広報活動に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、通常時は十分機能を発揮できる状態であるが、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含めた維持管理の強化が必要である。 今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、大久保浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、末端の処理施設として、より効率の良い施設整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	二見浄化センター維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 005			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費						
	項	下水道事業費						
	目	下水道維持費						
	事業	二見浄化センター維持事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野	事業所管課	下水道部下水道施設課					
	5-6 下水道の整備							
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』	連絡先	(078)934-3425					
実施方法		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度			
			根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
実施方法		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
			委託	<input type="radio"/>	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	二見浄化センター処理区内1691haに居住する市民及び同区内から排水される汚水と雨水（一部地域）
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理し雨水を速やかに排除する。

事業内容	① 汚水処理量	: 晴天日平均 平成25年度実績 33,511m ³ 平成26年度実績 33,627m ³ 平成27年度見込み 33,569m ³					
	② 汚泥焼却量	: 平成25年度実績 日平均 57,883kg (フェニックス搬出量、日平均 2,605kg) 平成26年度実績 日平均 62,077kg (フェニックス搬出量、日平均 2,524kg) 平成27年度見込み 日平均 59,980kg (フェニックス搬出量、日平均 2,565kg)					
	③ 点検業務	: 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)					
	④ マニュアル類	: 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成					
	⑤ 地元対応	: 硝化抑制運転の試行(豊かな里海、海苔養殖業者からの要望により)。樹木の剪定。					
	⑥ 省エネルギー	: 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)により、二見浄化センターは第一種エネルギー管理指定工場である。毎年エネルギーを1%低減させることを義務付けられており、目標達成のためには、機器更新の際に省エネを考慮する必要がある。					
	⑦ リサイクル	: 脱水ケーキのセメント原料化 平成25年度実績902t 平成26年度実績581t 平成27年度予定量800t : 脱水ケーキの燃料化 平成25年度実績1,691t 平成26年度実績1,253t 平成27年度予定量1,700t					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	563,605	66,676	630,281	0	0	711,329	-81,048	正規	8.50	パート	0.00
26当初予算	576,321	80,622	656,943	0	0	339,423	317,520	再任用	1.80	その他	0.00
26決算	541,248	80,622	621,870	0	0	660,973	-39,103	任期付	0.20	合計	10.50
27当初予算	555,955	76,340	632,295	0	0	333,541	298,754				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	276,027		需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	283,120
役務費	電話回線、手数料、火災保険料等	3,431	役務費	電話回線、手数料、火災保険料等	3,311		
委託料	汚泥中間処理業務、汚泥処理施設包括業務等	113,233	委託料	汚泥中間処理業務、汚泥処理施設包括業務等	123,747		
工事請負費	二見浄化センター汚泥焼却設備保全工事他	147,216	工事請負費	機械電気定期保全等	145,300		
備品購入費	溶接機他	1,152	公課費	自動車重量税	407		
その他		189	その他		70		
合計			541,248	合計			555,955

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-005	事務事業名	二見浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	44	44	45
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	11,174	11,071	11,800

指標で表せない成果

- ・「豊かな海」構想が進められている現状を考慮し、二見浄化センターでは「硝化抑制運転」の試行を続けている。他市に先駆けたこういう取り組みが、明石の地場産業である「のり養殖」の振興に一定の役割を果たしているのではと考える。
- ・市内各浄化センターから発生する脱水汚泥を含め、本浄化センターで焼却処理を行っている。
- ・平成23年度からは魚住清掃工場の廃止に伴い、し尿及び浄化槽汚泥の受入処理を行っている。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、通常時は十分機能を発揮できる状態であるが、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含めた維持管理の強化が必要である。</p> <p>今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、二見浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、末端の処理施設として、より効率の良い施設整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 006		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度		
	事業	朝霧ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
施策分野		5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	
	朝霧ポンプ場集水区303haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水ならびに同集水区12haの雨水	
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）	
	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に汚水を朝霧浄化センターに圧送する。	
<p>① 汚水圧送量 : 晴天日平均 平成25年度実績 7,596m³ 平成26年度実績 7,275m³ 平成27年度見込み 7,436m³</p> <p>② 維持管理 : 平成23年度から船上浄化センターにおいて遠隔操作を行い維持管理を行う。</p> <p>③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)</p> <p>④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成。</p> <p>⑤ 地元対応 : 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。</p> <p>⑥ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。</p>		

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	32,262	21,708	53,970	0	0	40,718	13,252	正規	1.85	アハハ	0.00
26当初予算	25,574	18,422	43,996	0	0	25,574	18,422				
26決算	28,987	18,422	47,409	0	0	35,399	12,010	再任用	0.23	その他	0.10
27当初予算	28,261	16,552	44,813	0	0	28,261	16,552	任期付	0.10	合計	2.28

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費		一般消耗品、電気料金、処理施設修繕(緊急)等		12,431	需用費	
役務費		電話回線、火災保険料等	205	役務費		電話回線、火災保険料等	175
委託料		保守点検業務委託、警備業務委託等	1,986	委託料		保守点検業務委託、警備業務委託等	2,786
工事請負費		朝霧ポンプ場汚水ポンプ設備機械保全工事他	14,365	工事請負費		機械電気定期保全等	11,800
合計			28,987	合計			28,261

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-006	事務事業名	朝霧ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	電力量	年間の総電力使用量	千KWh	462	443	500
	指標で表せない成果					
朝霧ポンプ場集水区内(303ha)から排水される汚水を圧送して生活環境を維持している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	林ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 007		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費						
	項	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	目	下水道維持費	連絡先	(078)934-3425				
	事業	林ポンプ場維持事業	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 59 年度		
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託		指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	林ポンプ場集水区内180haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水ならびに同集水区内25haの雨水
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を船上浄化センターに圧送する。 住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。

事業内容	① 汚水圧送量 : 晴天日平均 平成25年度実績 4,952m ³ 平成26年度実績 4,571m ³ 平成27年度見込み 4,762m ³ ② 雨水排除量 : 雨天日平均 平成25年度実績 2,839m ³ 平成26年度実績 1,891m ³ 平成27年度予定量 2,140m ³ ③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回) ④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成 ⑤ 地元対応 : 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。 ⑥ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。
------	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	7,931	22,040	29,971	0	0	10,009	19,962	正規	1.85	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	22,456	18,422	40,878	0	0	22,456	18,422				
26決算	23,895	18,422	42,317	0	0	29,181	13,136	再任用	0.23	その他	0.10
27当初予算	24,921	16,552	41,473	0	0	24,921	16,552	任期付	0.10	合計	2.28

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費		一般消耗品、電気料金、処理施設修繕(緊急)等		5,488	需用費	
役務費		火災保険料、地下タンク及埋設配管気密検査費等	69	役務費		火災保険料等	32
委託料		保守点検業務委託、浚渫汚泥最終処分業務委託等	2,840	委託料		保守点検業務委託、浚渫汚泥最終処分業務委託等	2,969
工事請負費		林ポンプ場雨水・汚水ポンプ設備機械保全工事	15,498	工事請負費		機械電気定期保全等	14,900
合計			23,895	合計			24,921

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-007	事務事業名	林ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	電力量	年間の総電力使用量	千KWh	165	153	200
	指標で表せない成果					
林ポンプ場集水区内(25ha)の雨水を排除して、同区内の冠水防止に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		藤江ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 008		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	下水道事業費		連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 9 年度		
	事業	藤江ポンプ場維持事業		根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	藤江ポンプ場集水区内113haに居住する市民及び同区内から排水される汚水								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に汚水を大久保浄化センターに圧送する。								
事業 内容	① 汚水圧送量 : 晴天日平均 平成25年度実績 5,121m ³ 平成26年度実績 4,234m ³ 平成27年度見込み 4,678m ³								
	② 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)								
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成								
	④ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	7,793	14,434	22,227	0	0	9,836	12,391	正規	1.55	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	6,489	16,314	22,803	0	0	6,489	16,314	再任用	0.23	その他	0.00
26決算	8,157	16,314	24,471	0	0	9,962	14,509	任期付	0.10	合計	1.88
27当初予算	8,315	13,752	22,067	0	0	8,315	13,752				

26年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	27年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	需用費		処理施設修繕(緊急)、電気料金等		4,415	需用費	
役務費		火災保険料等	7	役務費		火災保険料等	7
委託料		保守点検業務委託、警備業務委託等	495	委託料		保守点検業務委託、警備業務委託等	596
工事請負費		藤江ポンプ場汚水ポンプ設備機械保全工事	3,240	使用料及び賃借料		発電機リース代	200
				工事請負費		機械電気定期保全等	2,600
	合計		8,157		合計		8,315

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-008	事務事業名	藤江ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	155	158	190
	指標で表せない成果					
藤江ポンプ場集水区内(113ha)から排水される汚水を圧送して生活環境を維持している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	谷八木ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 009			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費							事業所管課
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 8 年度			
	事業	谷八木ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）							
	谷八木ポンプ場集水区内9haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水ならびに同集水区内5haの雨水							
	意図（どういう状態にしたいのか）							
住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を大久保浄化センターに圧送する。								
住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。								

事業内容	① 汚水圧送量 : 晴天日平均 平成25年度実績 96m ³ 平成26年度実績 94m ³ 平成27年度見込み 95m ³							
	② 点検業務 : 日常点検(週一回)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回) 消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)							
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成							
	④ 地元対応 : 大雨時、敷地内に土嚢の準備。エンジンポンプ及び発電機の準備。施設内の樹木の剪定。							
	⑤ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	16,320	14,460	30,780	0	0	20,598	10,182	正規	1.55	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	20,363	16,314	36,677	0	0	20,363	16,314				
26決算	36,746	16,314	53,060	0	0	44,875	8,185	再任用	0.23	その他	0.00
27当初予算	42,306	13,752	56,058	0	0	42,306	13,752	任期付	0.10	合計	1.88

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、処理施設修繕(緊急)、電気料金等	7,951		需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	13,282
役務費	火災保険料等	10	役務費	火災保険料等	11		
委託料	保守点検業務委託、警備業務委託等	1,309	委託料	保守点検業務委託、警備業務委託等	1,613		
工事請負費	谷八木ポンプ場雨水ポンプ設備 機械保全工事他	27,476	工事請負費	機械電気定期保全等	27,400		
合計			36,746	合計			42,306

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-009	事務事業名	谷八木ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	412	394	522
	指標で表せない成果					
散気装置や雨水ポンプを利用して、大久保浄化センター放流水と、海水を混合放流することにより、河川の水質改善を図り、ノリの養殖においてノリの成長に良い影響を与えている。汚水や雨水を敏速に排除し清潔な生活環境の維持に役立っている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		江井島ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 010		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	下水道事業費		連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 63 年度		
	事業	江井島ポンプ場維持事業		根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	江井島ポンプ場集水区内126haに居住する市民及び同区内から排水される汚水								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に汚水を西岡ポンプ場に圧送する。								
事業 内容	① 汚水圧送量 : 晴天日平均 平成25年度実績 2,729m ³ 平成26年度実績 2,635m ³ 平成27年度見込み 2,683m ³								
	② 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)								
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成								
	④ 地元対応 : 施設内の樹木の剪定								
	⑤ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	5,234	22,653	27,887	0	0	6,606	21,281	正規	1.85	パート	0.00
26当初予算	6,470	21,802	28,272	0	0	6,470	21,802	再任用	0.23	その他	0.00
26決算	4,850	21,802	26,652	0	0	5,923	20,729	任期付	0.10	合計	2.18
27当初予算	12,419	16,212	28,631	0	0	12,419	16,212				

26年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	27年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、電気料金等	3,657		需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	4,722
役務費	火災保険料等	122	役務費	火災保険料等	125		
委託料	保守点検業務委託、警備業務委託等	1,071	委託料	保守点検業務委託、警備業務委託等	1,672		
				工事請負費	機械電気定期保全等	5,900	
	合計		4,850		合計	12,419	

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-010	事務事業名	江井島ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	164	159	180
	指標で表せない成果					
江井島ポンプ場は汚水の圧送を行なっている。近隣住民の快適な生活を確保するために重要な役割を持つ。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。					

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	西岡ポンプ場維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 011		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	下水道事業費					
	目	下水道維持費					
	事業	西岡ポンプ場維持事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道施設課			
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)934-3425			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度	
			根拠法令・要綱等		下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等		
			実施方法	直営	○	補助・助成	
			委託		指定管理	その他	

事業の目的	対象（誰を・何を）	西岡ポンプ場集水区内905haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水ならびに同集水区内18haの雨水
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を二見浄化センターに圧送する。 住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。

事業内容	① 汚水圧送量	: 晴天日平均 平成25年度実績 18,352m ³ 平成26年度実績 17,671m ³ 平成27年度予定量 18,012m ³
	② 雨水排除量	: 雨天日平均 平成25年度実績 1,681m ³ 平成26年度実績 815m ³ 平成27年度予定量 1,248m ³
	③ 点検業務	: 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)
	④ マニュアル類	: 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成
	⑤ 地元対応	: 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。
	⑥ 省エネルギー	: エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	25,430	22,653	48,083	0	0	32,095	15,988	正規	1.85	アハハ	0.00
26当初予算	35,058	21,802	56,860	0	0	35,058	21,802				
26決算	32,499	21,802	54,301	0	0	39,688	14,613	再任用	0.23	その他	0.00
27当初予算	33,928	16,212	50,140	0	0	33,928	16,212	任期付	0.10	合計	2.18

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、処理施設修繕(緊急)、電気料金等	17,708		20,760	需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等
役務費	火災保険料、地下タンク及埋設配管気密検査費等	86	41	役務費	火災保険料等	41	
委託料	保守点検業務委託、警備業務委託等	2,933	3,327	委託料	保守点検業務委託、警備業務委託等	3,327	
工事請負費	西岡ポンプ場回転数制御装置保全工事	11,772	9,800	工事請負費	機械電気定期保全等	9,800	
合計			32,499	合計			33,928

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-011	事務事業名	西岡ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	795	838	850
	指標で表せない成果					
西岡ポンプ場は汚水の圧送に加え、雨水の排除も重要な役割である。近隣住民の安全安心の確保にも重要な役割を持つ。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		林ポンプ場整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 012		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度		
	事業	林ポンプ場整備事業		根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法、水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『明石下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 林ポンプ場及び附属施設								
	意図（どういう状態にしたいのか） 処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。								
事業 内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25～26年度 耐震化中長期計画策定業務委託 平成27年度 流量計等の計装設備、遠方監視装置等設計業務委託 ※上記委託は、交付金の配当が要求よりも少なかったため執行しない予定。								
	②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成25年度 長寿命化計画書提出(H26～30) 平成27年度 雨水沈砂池設備機械工事 ※上記工事は、交付金の配当が要求よりも少なかったため執行しない予定。 (注)遠方監視装置…無人のポンプ場の状況を、映像や数値によって離れた有人施設で監視できるようにするもの 雨水沈砂池設備…ポンプ場に集められた雨水に含まれるごみや砂を取り除くもの								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.22	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	88	0	88	0	0	0	88	任期付	0.09	合計	0.31
27当初予算	52,400	2,038	54,438	22,000	30,400	0	2,038				

26年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	27年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	下水道施設耐震化中長期計画策定業務委託		88		委託料
					工事請負費	雨水沈砂池設備機械工事	33,500
	合計		88		合計		52,400

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-012	事務事業名	林ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	江井島ポンプ場整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 013	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度	
	事業	江井島ポンプ場整備事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	江井島ポンプ場及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。
事業内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年度 耐震化中長期計画策定業務委託 平成26～27年度 中央監視制御設備電気工事	
	②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成27年度 長寿命化計画書提出(H27～31)(予定)	
(注)中央監視制御設備…二見浄化センターと西岡、江井島ポンプ場から成る二見処理区全体の状態監視、機器の運転操作、データ保存を行うもの		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	332	332	0	0	0	332	正規	0.22	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	44,800	1,442	46,242	20,000	24,800	0	1,442	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	33,488	1,442	34,930	16,729	16,730	0	1,471	任期付	0.09	合計	0.31
27当初予算	10,000	2,038	12,038	5,000	5,000	0	2,038				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	下水道施設耐震化中長期計画策定業務委託		29		工事請負費
	工事請負費	二見浄化センター中央監視制御設備電気工事	33,459				
	合計		33,488		合計		10,000

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-013	事務事業名	江井島ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長年に渡り運用できる計画とする。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	西岡ポンプ場整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 014	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度	
	事業	西岡ポンプ場整備事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	西岡ポンプ場及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。
事業内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年度 耐震化中長期計画策定業務委託 平成26～27年度 中央監視制御設備電気工事	
	②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成27年度 長寿命化計画書提出(H27～31)（予定）	
(注)中央監視制御設備…二見浄化センターと西岡、江井島ポンプ場から成る二見処理区全体の状態監視、機器の運転操作、データ保存を行うもの		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	332	332	0	0	0	332				
26当初予算	59,500	1,770	61,270	25,000	34,500	0	1,770	正規	0.22	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
26決算	28,916	1,770	30,686	14,282	14,281	0	2,123	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	10,000	2,038	12,038	5,000	5,000	0	2,038	任期付	0.09	合計	0.31

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		委託料	下水道施設耐震化中長期計画策定業務委託		353		工事請負費
	工事請負費	二見浄化センター中央監視制御設備電気工事	28,563				
	合計		28,916		合計		10,000

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-014	事務事業名	西岡ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長年に渡り運用できる計画とする。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		処理場整備一般管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 015			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課					
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道終末処理場建設事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度			
	事業	処理場整備一般管理事務事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等					
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理			
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業の目的	対象（誰を・何を）								
	浄化センター等の下水道処理施設								
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）								
	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。								
浄化センター等の設計、積算、施工管理に要する一般管理事務を行う。 ①下水道に関する研究成果の発表、技術情報収集、実務者研修への参加 ②設計歩掛、積算単価資料、専門書、作業服、コピー用紙の購入 ③設計図面の製本、CAD図面の出力 ④現場移動用燃料費 ⑤説明会等の実施 ⑥車両損害共済、自賠責費用 ⑦コピー機械の借上げ料 ⑧積算システムリース料 ⑨自動車重量税									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	4,237	3,616	7,853	0	0	0	7,853	正規	0.21	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	5,919	1,852	7,771	0	0	5,853	1,918	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	4,348	1,852	6,200	0	0	1,066	5,134	任期付	0.09	合計	0.30
27当初予算	6,425	1,956	8,381	0	0	1,316	7,065				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費、研修旅費	62		旅費	研修旅費等	400
需用費	事務用品費、本代、燃料費等	2,819	需用費	事務用品費、本代等	3,665		
役務費	損害共済分担金、自動車保険料等	121	役務費	損害共済分担金、自動車保険料等	125		
使用料及び賃借料	コピー使用料等	374	使用料及び賃借料	コピー使用料等	1,020		
負担金補助及び交付金	積算システムリース料の負担金、研修費等	958	負担金補助及び交付金	積算システムリース料の負担金等	1,201		
公課費	自動車重量税	14	公課費	自動車重量税	14		
合計			4,348	合計			6,425

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-015	事務事業名	処理場整備一般管理事務事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	執行率	事務費用は積算資料の購入など、固定費が主なため、執行率が低ければ消耗品等の支出を抑制していることとなる。	%	91	74	90
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も必要最小限の一般管理事務費用にとどめる。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保浄化センター整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 016		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費					
	目	下水道終末処理場建設事業費					
	事業	大久保浄化センター整備事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道施設課			
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)934-3425			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度	
			根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	大久保浄化センター及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。
事業内容	①下水道普及にともなう処理施設の拡張を行う。 平成25年度 汚泥処理分離液管増設	
	②老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年度 流入渠防食工事 広域監視設備基本設計業務委託 平成25～26年度 耐震化中長期計画策定業務委託 平成26年度 返流水管更生工事 平成27年度 受変電設備設計業務委託 ※上記委託は、交付金の配当が要求よりも少なかったため執行しない予定。	
	③施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成25年度 長寿命化計画策定業務委託(H27～31) 平成27年度 長寿命化計画書提出(H27～31) (予定)	
	(注)受変電設備…電力会社から電気の供給を受け、浄化センター内に配電するもの	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	223,149	3,865	227,014	113,208	109,941	14	3,851				
26当初予算	9,900	1,688	11,588	4,000	0	5,900	1,688	正規	0.22	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26決算	50,321	1,688	52,009	21,332	28,162	859	1,656	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	4,900	2,038	6,938	2,000	2,900	0	2,038	任期付	0.09	合計	0.31
26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額				
	委託料	大久保浄化センター広域監視設備ほか実施設計委託ほか	34,634		委託料	受変電設備設計業務委託	4,900				
	工事請負費	大久保浄化センター返流水管土木工事ほか	15,687								
合計			50,321	合計			4,900				

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-016	事務事業名	大久保浄化センター整備事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	40	33	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員での処理場運転を可能にしている。 ・唯一の高度処理施設であり、各種見学や市民開放施設を通して、下水道の普及啓発に貢献する。 						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		二見浄化センター整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 017					
				分割/統合								
関連予算科目	会計	下水道事業		事業の分割/統合の内容								
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課							
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)934-3425							
	目	下水道終末処理場建設事業費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度					
	事業	二見浄化センター整備事業		根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等							
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成				その他	
		5-6 下水道の整備			委託			指定管理				
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』										
事業の目的	対象（誰を・何を）											
	二見浄化センター及び附属施設											
	意図（どういう状態にしたいのか）											
処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。												
事業内容	<p>①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25～26年度 耐震化中長期計画策定業務委託 平成26～27年度 中央監視制御設備電気工事 平成27年度 汚泥脱水設備機械・電気工事(予定)</p> <p>②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成25年度 エアレーション設備機械・電気工事 長寿命化計画策定業務委託 平成26年度 汚水ポンプ設備機械工事 浮上濃縮棟防水工事 平成27年度 管理棟防水等工事 ※上記工事は、交付金の配当が要求よりも少なかったため執行しない予定。</p> <p>(注)中央監視制御設備…二見浄化センターと西岡、江井島ポンプ場から成る二見処理区全体の状態監視、機器の運転操作、データ保存を行うもの 汚泥脱水設備…下水中に含まれる汚泥を分離濃縮した後に、水分を減らして減量するもの</p>											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
25決算	712,967	3,865	716,832	366,744	356,586	44	-6,542						
26当初予算	593,296	2,508	595,804	296,500	284,800	8,787	5,717	正規	0.22	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00		
26決算	378,862	2,508	381,370	204,666	201,093	6,467	-30,856	再任用	0.00	その他	0.00		
27当初予算	1,083,420	2,038	1,085,458	561,500	521,800	0	2,158	任期付	0.09	合計	0.31		
26年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額				
	委託料	朝霧浄化センターほか長寿命化計画策定業務委託ほか		13,017		旅費	工場立会検査		120				
	工事請負費	二見浄化センター中央監視制御設備電気工事ほか		365,845		工事請負費	汚泥脱水設備機械工事ほか		1,083,300				
	合計		378,862		合計		1,083,420						

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-017	事務事業名	二見浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	27.3	22	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員での処理場運転を可能にしている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		朝霧ポンプ場整備事業	新規/継続	H26休廃止	整理番号	0165003000 - 018		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業	事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度		
	事業	朝霧ポンプ場整備事業	根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	朝霧ポンプ場及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。

事業 内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25～26年度 耐震化中長期計画策定業務委託
	②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成27年度 長寿命化計画書提出(H27～31)(予定)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	アハハ	その他
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0			
26決算	253	0	253	0	0	0	253			
27当初予算										

26 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
		委託料	下水道施設耐震化中長期計画 策定業務委託		253		
	合計		253		合計		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-018	事務事業名	朝霧ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	/
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成27年度については休止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成27年度については休止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	藤江ポンプ場整備事業		新規/継続	H26休廃止		整理番号	0165003000 - 019		
			分割/統合						
関連 予算 科目	会計	下水道事業	事業の分割/ 統合の内容						
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課					
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425					
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 9 年度			
	事業	藤江ポンプ場整備事業	根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	藤江ポンプ場及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。

事業 内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25～26年度 耐震化中長期計画策定業務委託
	②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成27年度 長寿命化計画書提出(H27～31)(予定)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0			
26決算	53	0	53	0	0	0	53	再任用	任期付	合計
27当初予算										

26 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
		委託料	下水道施設耐震化中長期計画 策定業務委託		53		
	合計		53		合計		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-019	事務事業名	藤江ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	/
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成27年度については休止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成27年度については休止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名 谷八木ポンプ場整備事業		新規/継続	H26休廃止		整理番号	0165003000 - 020			
		分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業		事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 8 年度		
	事業	谷八木ポンプ場整備事業		根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理			
		5-6 下水道の整備		その他					

事業の目的	対象（誰を・何を）	谷八木ポンプ場及び附属施設							
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。							
	事業内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25～26年度 耐震化中長期計画策定業務委託 ②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成27年度 長寿命化計画書提出(H27～31)(予定)							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	0	0	0	0	0	0	0			
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	ｱｲﾀﾞ
26決算	80	0	80	0	0	0	80	再任用	その他	ｱｲﾀﾞ
27当初予算								任期付	合計	合計

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		委託料	下水道施設耐震化中長期計画策定業務委託		80		
	合計		80		合計		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-020	事務事業名	谷八木ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	/
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成27年度については休止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成27年度については休止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧浄化センター整備事業		新規/継続	H26休廃止	整理番号	0165003000 - 021		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費						
	項	公共下水道建設費						
	目	下水道終末処理場建設事業費						
	事業	朝霧浄化センター整備事業						
施策分野			事業所管課		下水道部下水道施設課			
			連絡先		(078)934-3425			
個別計画			自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 57 年度	
			根拠法令・要綱等		下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
個別計画			実施方法		直営	○	補助・助成	その他
			委託		指定管理			
個別計画			下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』					

事業の目的	対象（誰を・何を）	朝霧浄化センター及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。

事業内容	①	老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年度 換気設備電気工事 平成26年度 監視設備電気工事
	②	施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成25年度 送風機設備長寿命化工事 平成26年度 長寿命化計画策定業務委託

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	147,966	3,865	151,831	81,253	66,713	9	3,856			
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他
26決算	17,386	0	17,386	8,966	7,967	297	156	再任用	任期付	合計
27当初予算										

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	朝霧浄化センターほか長寿命化計画策定業務委託ほか		7,396		
	工事請負費	朝霧浄化センター監視設備電気工事	9,990				
	合計		17,386		合計		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-021	事務事業名	朝霧浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	23	33	/
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成27年度については休止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成27年度については休止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	船上浄化センター整備事業	新規/継続	H26休廃止	整理番号	0165003000 - 022		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道終末処理場建設事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度	
	事業	船上浄化センター整備事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	船上浄化センター及び附属施設
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。

事業内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年度 送風機設備改築電気工事 平成26年度 最終沈殿池設備電気工事
	②施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成25年度 送風機設備長寿命化機械工事 平成26年度 長寿命化計画策定業務委託

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	48,662	3,865	52,527	26,416	18,760	3	7,348			
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0	正規		ｱﾊﾞｲﾄ
26決算	29,566	0	29,566	10,734	18,078	505	249	再任用		その他
27当初予算								任期付		合計

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	船上浄化センター水処理施設耐震計画業務委託ほか	22,222				
工事請負費	船上浄化センター最終沈殿池設備電気工事	7,344					
	合計		29,566		合計		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-022	事務事業名	船上浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	14	33	/
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成27年度については休止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成27年度については休止						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	下水道計画事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費	事業所管課	下水道部下水道建設課			
	目	下水道整備費	連絡先	(078)934-9628			
	事業	下水道計画事務事業	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託			指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市公共下水道
	意図（どういう状態にしたいのか）	安定した機能維持とともに、新たに直面する課題に柔軟かつ的確に対応するため下水道計画を策定する。

事業内容	①下水道建設計画の立案 H26（委託）明石市公共下水道事業計画変更図書等作成業務委託	
	②下水道の調査および研究 ③開発事業協議における下水道計画の指導および近隣市町との調整	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	28	32,060	32,088	0	0	1	32,087	正規	2.35	ｱﾊﾞｲﾄ	0.20
26当初予算	21,600	25,120	46,720	6,500	0	187	40,033	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	49	25,120	25,169	0	0	0	25,169	任期付	0.00	合計	2.55
27当初予算	90	19,630	19,720	0	0	0	19,720				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費等	49		旅費	近接地旅費等	90
	合計		49		合計		90

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-001	事務事業名	下水道計画事務事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	開発事業協議受付件数	1年間に受け付けた開発事業協議の件数	件	103	84	100
	指標で表せない成果					
重要事業の計画立案・庁内調整等						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
持続可能な下水道を維持し続けるため、より効率的・効果的な事業推進を図るとともに、より計画的かつ積極的な計画事務を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	管渠整備一般管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 002		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費					
	目	下水道整備費					
	事業	管渠整備一般管理事務事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道建設課			
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)934-9628			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
実施方法			直営	○	補助・助成		
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市公共下水道事業
	意図（どういう状態にしたいのか）	計画的かつ円滑に推進する。

事業内容	下水道管渠整備一般事務に要する経費
	<ul style="list-style-type: none"> ○研修旅費および研修負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・全国建設研修センター(東京都) ・下水道事業団研修(埼玉県) ○積算関係図書および積算システム負担金 ○事務用品および下水道専門書など

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	6,537	10,380	16,917	0	0	192	16,725	正規	0.60	パート	0.80
26当初予算	7,244	8,640	15,884	0	0	7,244	8,640	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	6,865	8,640	15,505	0	0	0	15,505	任期付	0.00	合計	1.40
27当初予算	8,063	6,360	14,423	0	0	1,000	13,423				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	研修旅費、近接地旅費	341		旅費	研修旅費、近接地旅費	400
需用費	事務用品、各種機器点検ほか	2,822	需用費	事務用品、各種機器点検ほか	3,210		
役務費	郵便料、手数料等	96	役務費	郵便料、手数料等	459		
使用料及び賃借料	コピー機借上料ほか	646	使用料及び賃借料	コピー機借上料ほか	800		
備品購入費	参考図書・専用工具ほか	43	負担金補助及び交付金	講習会等出席負担金および積算システムほか	3,089		
負担金補助及び交付金	講習会等出席負担金および積算システムほか	2,917	その他		105		
合計			6,865	合計			8,063

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-002	事務事業名	管渠整備一般管理事務事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					
事務の円滑な執行						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
引き続き、より計画的かつ積極的な下水道事業を行うとともに、効率的・効果的な事業展開を推進する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧処理区管渠整備事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 003		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費			事業所管課	下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費			連絡先	(078)934-9628			
	目	下水道整備費			自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	朝霧処理区管渠整備事業			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
施策分野	5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備。
	意図（どういう状態にしたいのか）	生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水被害の軽減を図る。

事業内容	①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施 H26（委託）朝霧川右岸污水管実施設計委託 H27（工事）朝霧北町ほか管布設工事（予定） （委託）朝霧処理区内支管実施設計委託（予定） ※H27は上記委託を予定していたが、交付金の内示額の減に伴い、翌年度以降の予算で実施することとなった。
	②浸水対策事業の実施 H25（委託）東野町雨水管実施設計委託

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	3,302	13,695	16,997	1,616	1,686	188	13,507	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	117,300	13,530	130,830	42,000	75,300	0	13,530	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	3,582	13,530	17,112	0	3,582	161	13,369	任期付	0.00	合計	1.65
27当初予算	39,300	13,530	52,830	7,500	31,800	0	13,530				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	朝霧川右岸污水管実施設計委託ほか	3,582			委託料	朝霧処理区内支管実施設計委託
				工事請負費	朝霧北町ほか管布設工事	19,500	
				補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	18,000	
	合計		3,582		合計	39,300	

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-003	事務事業名	朝霧処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.4	99.5	99.5
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.4	48.5	48.6
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、過去の浸水被害箇所を中心に、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-004	事務事業名	船上処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.4	99.5	99.5
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.4	48.5	48.6
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、過去の浸水被害箇所を中心に、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保処理区管渠整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業					
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費					
	目	下水道整備費					
	事業	大久保処理区管渠整備事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野	事業の分割/統合の内容					
	5-6 下水道の整備						
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』	事業所管課	下水道部下水道建設課				
		連絡先	(078)934-9628				
		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
		根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法				
		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備。
	意図（どういう状態にしたいのか）	生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水被害の軽減を図る。
事業内容	<p>①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施 H25（工事）大窪山崎(3工区)ほか支管工事ほか （委託）松陰山手土地区画整理事業地内污水管実施設計委託ほか H26（工事）大窪土井ヶ谷管布設工事ほか H27（工事）松陰東谷ほか管布設工事ほか</p> <p>②浸水対策事業の実施 H25（工事）大窪角田雨水管布設工事ほか H26（工事）金ヶ崎春日田ほか雨水・污水管布設工事ほか （委託）藤江堂ノ下マンホールポンプほか実施設計委託 H27（工事）金ヶ崎春日田ほか(2工区)雨水管布設工事ほか （委託）谷八木第1号雨水幹線設計委託ほか(予定) ※H27は上記委託を予定していたが、交付金の内示額の減に伴い、翌年度以降の予算で実施することとなった。</p>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	268,492	13,695	282,187	90,286	178,206	15,302	-1,607				
26当初予算	454,800	13,530	468,330	150,000	304,800	0	13,530	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26決算	103,801	13,530	117,331	34,805	68,996	4,662	8,868	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	143,200	13,530	156,730	29,750	113,450	0	13,530	任期付	0.00	合計	1.65

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	藤江堂ノ下マンホールポンプほか実施設計委託ほか		5,048		委託料
	工事請負費	大窪土井ヶ谷管布設工事ほか	98,753		工事請負費	松陰東谷ほか管布設工事ほか	74,900
					補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	36,000
	合計		103,801		合計		143,200

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-005	事務事業名	大久保処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.4	99.5	99.5
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.4	48.5	48.6
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、過去の浸水被害箇所を中心に、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	二見処理区管渠整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 006		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道建設課				
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-9628				
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	二見処理区管渠整備事業	根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備。
	意図（どういう状態にしたいのか）	生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水被害の軽減を図る。
事業内容	①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施	H25（工事）西岡樋ヶ元管布設工事ほか H26（工事）西岡樋ヶ元(2工区)管布設工事ほか
	②浸水対策事業の実施	H25（工事）住吉4丁目ほか雨水管布設工事ほか （委託）山陽電鉄西二見駅北側雨水管ほか実施設計委託ほか H26（工事）瀬戸第3号雨水幹線(戊ノ方谷工区)布設工事ほか （委託）清水若宮ノ下ほか雨水管実施設計委託ほか H27（工事）瀬戸第3号雨水幹線(鈴谷工区)布設工事ほか(予定) （委託）中尾川改修実施設計委託ほか(予定) ※H27は上記委託を予定していたが、交付金の内示額の減に伴い、翌年度以降の予算で実施することとなった。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	253,779	13,695	267,474	105,403	148,344	14,464	-737	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	494,700	13,530	508,230	200,500	294,200	0	13,530	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	454,212	13,530	467,742	211,465	327,684	20,401	-91,808	任期付	0.00	合計	1.65
27当初予算	379,200	13,530	392,730	145,500	233,700	0	13,530				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	清水若宮ノ下ほか雨水管実施設計委託ほか		33,657		委託料
	工事請負費	瀬戸第3号雨水幹線(戊ノ方谷工区)布設工事ほか	419,068		工事請負費	瀬戸第3号雨水幹線(鈴谷工区)布設工事ほか	297,300
	補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	1,487		補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	27,000
	合計		454,212		合計		379,200

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-006	事務事業名	二見処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.4	99.5	99.5
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.4	48.5	48.6
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、過去の浸水被害箇所を中心に、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	船上処理区管渠更生事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 007		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-9628			
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	船上処理区管渠更生事業	根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他
	5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	船上処理区における、老朽化している既設管路施設の改築及び修繕。
	意図（どういう状態にしたいのか）	既設管路施設の円滑な流下能力の確保と施設の長寿命化、及び道路陥没事故防止等の安全確保に努める。

事業内容	①老朽化している管渠を撤去し新しい管渠を布設、もしくは管渠の更生工事を実施する。 H25（工事） 林1丁目(2工区)管渠工事ほか （委託） 船上処理区管渠改築実施設計(その7)委託ほか H26（工事） 本町1丁目(4工区)ほか管渠工事ほか （委託） 船上処理区管渠改築実施設計(その9)委託ほか H27（工事） 林3丁目(3工区)ほか管渠工事ほか(予定) （委託） 船上処理区東部(1工区)管渠調査業務委託(予定) ※H27は上記委託を予定していたが、交付金の内示額の減に伴い、翌年度以降の予算で実施することとなった。
	②耐用年数(30年)が過ぎているマンホール蓋を取り替える。 H25（工事） 林(1工区)人孔蓋取替え工事ほか H26（工事） 船上東部(2工区)人孔蓋取替え工事ほか H27（工事） 船上東部(3工区)人孔蓋取替え工事ほか(予定)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	296,072	23,240	319,312	88,718	243,642	16,873	-29,921	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	429,800	20,560	450,360	115,000	314,800	0	20,560	再任用	0.50	その他	0.00
26決算	347,281	20,560	367,841	121,476	223,969	15,598	6,798	任期付	0.00	合計	2.15
27当初予算	174,700	15,230	189,930	50,000	124,700	0	15,230				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	船上処理区管渠改築実施設計(その9)委託ほか	17,769			委託料	船上処理区東部(1工区)管渠調査業務委託
工事請負費	本町1丁目(4工区)ほか管渠工事ほか	329,512		工事請負費	林3丁目(3工区)ほか管渠工事ほか	155,500	
	合計		347,281		合計		174,700

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-007	事務事業名	船上処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	1.6	2.1	1
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	197	191	200
指標で表せない成果						
老朽化している既存下水道施設の計画的な改築更新により、下水道施設に起因した大規模な陥没事故は防止できている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道施設の計画的な調査点検を行うとともに、国の予算的支援に必要不可欠な管渠等の「長寿命化計画」を策定し、その長寿命化計画に基づいた、計画的かつ効率的・効果的な整備を推進することで、安定した持続可能な下水道機能を維持する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		二見処理区管渠更生事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 008		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道建設課				
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)934-9628				
	目	下水道整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	年度		
	事業	二見処理区管渠更生事業		根拠法令 ・要綱等	都市計画法・下水道法				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	二見処理区における老朽化している既設管路施設の改築及び修繕。								
事業 内容	意図（どういう状態にしたいのか）								
	既設管路施設の円滑な流下能力の確保と施設の長寿命化及び、道路陥没事故防止等の安全確保に努める。								
①老朽化している管渠を撤去し新しい管渠を布設、もしくは管渠の更生工事を実施する。 H25（委託） 大久保町西島字居屋敷ほか地内管渠調査業務委託ほか H27（委託） 二見処理区管渠改築実施設計委託（予定） ※H27は上記委託を予定していたが、交付金の内示額の減に伴い、翌年度以降の予算で実施することとなった。									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他
25決算	17,657	0	17,657	2,829	0	1,006	13,822				
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0	正規	1.65	パート	0.00
26決算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.50	その他	0.00
27当初予算	14,500	15,230	29,730	5,000	9,500	0	15,230	任期付	0.00	合計	2.15
26 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容		金額		27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容		金額	
							委託料	二見処理区管渠改築実施設計委託		14,500	
	合計		0			合計		14,500			

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-008	事務事業名	二見処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	1.6	2.1	0.6
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	197	191	200
指標で表せない成果						
老朽化している既存下水道施設の計画的な改築更新により、下水道施設に起因した大規模な陥没事故は防止できている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道施設の計画的な調査点検を行うとともに、国の予算的支援に必要不可欠な管渠等の「長寿命化計画」を策定し、その長寿命化計画に基づいた、計画的かつ効率的・効果的な整備を推進することで、安定した持続可能な下水道機能を維持する。						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧処理区管渠更生事業			新規/継続	H26休廃止	整理番号	0165004000 - 009		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費			事業所管課	下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費			連絡先				
	目	下水道整備費			自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	朝霧処理区管渠更生事業			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
施策分野	5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成		
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	朝霧処理区における老朽化している既設管路施設の改築、修繕									
	意図（どういう状態にしたいのか）									
既設管路施設の円滑な流下能力の確保及び、道路陥没事故防止等の安全確保に努める。										
事業内容	①老朽化している管渠を撤去し新しい管渠を布設、もしくは管渠の更生工事を実施する。 H26（委託） 浸入水調査改築検討(その5)業務委託ほか									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	0	11,620	11,620	0	0	0	11,620			
26当初予算	5,000	10,280	15,280	2,500	0	0	12,780	正規		ｱﾊﾞｲﾄ
26決算	24,791	10,280	35,071	2,160	17,713	1,113	14,085	再任用		その他
27当初予算								任期付		合計

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		委託料	浸入水調査改築検討(その5)業務委託ほか		24,791		
	合計		24,791		合計		

平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-009	事務事業名	朝霧処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	1.6	2.1	/
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	197	191	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成27年度については休止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成27年度については休止						